

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

友朋会理念 『患者さんのために』



アートセラピー美術館祭が開催されました！



contents

- 1 目次
- 2 アートセラピー美術館祭
- 3 創立51周年記念式典・合同慰霊祭
- 4~5 医療機能評価の更新受審
- 6 新体制紹介・New Face
- 7 新Dr.の紹介
- 8 理念・診療科の紹介及び診療担当医師一覧表




50周年記念イベント
アートセラピー美術館祭

アートセラピー美術館祭運営委員長 地域生活支援科 田崎 晃子



平成28年3月5日(土)アートセラピー美術館祭を開催しました。友朋会創立50周年記念イベントとして8つのワークショップと、美術館見学、大ホールでの立食パーティ&ウエルカム・コンサートと盛りだくさんの内容でした。

患者ご家族様、地域住民の方々、嬉野高校生のみなさん、佐賀、長崎、福岡在住の方、専門学校生、医療従事者、保育園職員など多方面の方に参加いただき、総勢144名の参加となりました。ワークショップには多くの申込みがあり、定員を増やしたり、他のワークショップに移っていただいたりと参加者の皆様にはご迷惑をおかけすることもありましたが、アンケートでは、「楽しい時間を過ごせました」「バイオリンとオカリナの演奏が素晴らしかった」「料理がおいしかったです」など嬉しいお言葉を多数いただくことができました。2年をかけて構想を練り、企画立案し、広報に力を入れながら取り組んできましたので、多くの皆様にご参加いただき、楽しんで頂けたことが、委員会メンバー全員何よりの喜びとなりました。心配しておりました天候にも恵まれ、春の心地良い一日での開催となったこともありがたく思っております。また多くの皆様にご協力、ご支援いただきましたこと、心より感謝申し上げます。今回は記念イベントとしての開催ではありましたが、今後も友朋会の芸術療法を知っていただく企画を考えております。ありがとうございました。



《ワークショップ参加者》

- 陶芸療法 / 19名
- 認知症現場での陶芸療法 / 19名
- 絵画療法 / 18名
- 音楽療法 / 18名
- 連句療法 / 19名
- クラフト療法 / 19名
- コラージュ療法 / 16名
- 保育現場での園芸療法 / 9名

※計137名の方にワークショップに参加して頂きました。
アートセラピー美術館見学者 / 140名



創立51周年記念式典

平成28年4月2日(土)に当会の創立51周年を記念して式典を開催致しました。

当会において年間を通して最も重要なイベントの一つです。

谷口嬉野市長をはじめ多くのご来賓の方々にご出席いただき、ご祝辞やお祝いのお言葉を頂戴しました。

今年は理事長より新体制への移行に伴う辞令の交付も行われました。この新体制のもと、これからも地域の皆様に信頼して頂ける医療を提供できるよう職員一同努力して参ります。

また、永年勤続職員(10年勤続、20年勤続、30年勤続)が表彰を受賞し、勤続15年の意見発表においては、当会の歴史と発表を行う職員それぞれの想いを述べられました。



中川理事長挨拶



辞令交付



勤続15年の意見発表



新入職員の自己紹介



30年勤続の皆さん



20年勤続の皆さん



10年勤続の皆さん

合同慰霊祭

3月2日(水)13:30から合同慰霊祭を執り行いました。

平成27年1月から12月までの間にお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りし黙とうならびに献花を捧げました。





医療機能評価の更新受審

昨年10月20日、21日の二日間4回目となる医療機能評価を受審しました。思えば平成13年11月1回目の受審から平成18年、平成23年と経て、今回の受審になりますが、早いもので15年になります。しかも丁度受審する年は5年ごとの友朋会の節目の年で今回は50周年にあたる年でもありました。当初の受審時よりいつも高い評価を得ておりましたが、3回目の更新時の評価がとても高く日本経済新聞で機能評価の評価点を独自の方法で点数付した結果、当院が日本1の病院と小さな記事ではありましたが、掲載されました。そのことはとても誇りに思う事ではありましたが、その評価をいかに維持、さらに改善するかという事は3回目の更新時よりとても大きなテーマでした。さらに今回は新しいバージョンでの評価となりその評価の方法もこれまでとはやや異なるものでした。具体的には評価項目が少なくなったこと、訪問日数が1日短くなったこと、調査委員の人数も7名から今回4名と少なくなり、訪問病棟(いわゆるケアプロセス)がこれまで6病棟であったのが、3つの病棟であり、しかも希望しなければ精神科のみ、2病棟のみでの評価となるものでした。結果的に副機能として東2病棟をケアプロセスしてもらうことになりましたが、正直な話、これは私個人の勘違いで当初東1病棟のケアプロセスを受けるつもりが今回のバージョンで病院自体の区分も変更となり慢性期の内科の病棟を受けなければならず、そのため受審4か月ほど前に急な変更となってしまいました。改めて、東1、東2病棟のスタッフの皆さん、および内科の先生方ご迷惑をおかけしたことを改めて謝りたいと思います。それでもみなさん快く引き受けた頂き結果としてすべて「A」という高い評価を得られたことはさすがといわなければならないでしょう。さて今回の評価の結果ですが、右上の表にあるように「S」という評価が13項目ありました。この「S」という評価の意味は極めて優れているという評価であり前回の高い評価を現在も維持していることを意味していると思います。これもひとえに受審の準備に御協力頂いたスタッフの皆さんももちろんですが、日頃から友朋会の理念のもと、努力され仕事をして頂いている結果だと思います。改めて心より感謝いたします。ただ、残念ながら前回にはなかった「B」という評価が4項目ありこの点については今後しっかり改善していかなくてはなりませんので病院機能向上委員会を通じてまた皆さんの協力を仰ぐこととなりますのでこれからもよろしく願いいたします。有難うございました。

病院機能評価向上委員会 委員長 吉本静志

精神科病院

| | S | A | B | C | NA | 内容 |
|-----|----|----|---|---|----|--------------|
| 1領域 | 1 | 19 | 1 | 0 | | 患者中心の医療の推進 |
| 2領域 | 5 | 29 | 1 | 0 | 3 | 良質な医療の実践1 |
| 3領域 | 1 | 9 | 0 | 0 | 4 | 良質な医療の実践2 |
| 4領域 | 5 | 14 | 1 | 0 | | 理念達成に向けた組織運営 |
| 合計 | 12 | 71 | 3 | 0 | 7 | |

副機能(慢性期病院)

| | S | A | B | C | NA | 内容 |
|-----|---|----|---|---|----|-----------|
| 2領域 | 1 | 21 | 1 | 0 | 0 | 良質な医療の実践1 |

評価の定義

- ◎ S 秀でている
- ◎ A 適切に行われている
- ◎ B 一定の水準に達している
- ◎ C 一定の水準に達しているとはいえない
- ◎ NA 対象の評価項目の機能を有さない



新体制紹介

精神科副院長 富松眞之

この度、精神科副院長に就任いたしました。精神科はベッド数、外来数も多く、これを円滑に運営することを考えると、身が引き締まる思いであります。精神科や他科の先生方、何より友朋会には多くの優秀な看護職員、コメディカルスタッフがおり、ともに協力すれば、どんな難題でも解決できるのではないかと思います。当院の特色である認知症医療、統合失調症の社会復帰、うつ病リワーク、児童思春期医療、芸術療法などをさらに強化しつつ、時代のニーズにあった新しい分野の開拓も行っていきたくと思います。また、地域の医療関係者様との連携をさらに押し進めたいと思います。不慣れな点もあるかと思いますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。



内科副院長 竹下吉明

この度、内科副院長を拝命しました竹下吉明です。50年の伝統のある友朋会の重責ある立場に就くことについて、非常な名誉であるとともに大きなプレッシャーを感じています。早いもので大学を卒業して20年、友朋会に着任して10年になりました。「『患者さんのために』 安全で質の高いチーム医療を実践し、地域の医療・福祉の向上に貢献する」などの友朋会理念や基本方針を常に心に留めて、友朋会が進化し続けていけるよう友朋会職員一同とともに、微力ではありますが一層の努力をしてゆく所存です。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



内科副院長 榎真佐史

内科の榎と申します。平成3年、佐賀医科大学を卒業し、平成14年から当院で勤務させていただいております。専門内科ではなく佐賀大学の医局でも一般内科に属していました。当院での勤務はもうすぐ15年となりますが、今回さらに責任のある立場へのお話をいただき身の引き締まる思いです。個人的にはそろそろ目も悪くなり処置時には細かい字が見えずに若い人に「この数字は何て書いているの?」と聞くようになりました。今後は前両副院長先生を見習い、同期の先生を頼りながら、当院の皆さんと患者さん・御家族にご指導いただき足りない所をカバーして何とか職務を全うしたく思います。



介護老人保健施設 朋寿苑 施設長 林原歳久

前任の先生が体調不良になられて、お手伝いをするかたちで老健の管理医師になってから早7年以上、、、いろいろな事がありながらも、事務長、両師長、課長をはじめとした当苑スタッフの皆様を支えてもらいながらなんとか勤務してきました。この度当苑の管理責任者に拝命いただきました。これからもスタッフと協力しながら入所者とその御家族の方々に喜ばれるような施設を目指し微力ながら一歩ずつ進んでいこうと考えています。今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。



透析センター長 江原 孝

平成3年4月より、大学病院を退職し外科系の医師として勤務を始めました。一人で麻酔から手術・術後管理までできたのも看護スタッフの協力のおかげであったと感謝しております。また、体外衝撃波結石破砕装置での治療を県内で初めて行ったことや人工血液透析の導入など、この25年間はあつという間の出来事となりました。副院長として十分な業務が遂行できたかは自問自答するところですが、理念である「患者さんのために」を常に心構えとし診療を行ってきました。今後は透析センター長として勤務しますが、これまでの経験を活かし地域に必要な病院と評価していただけるように頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。



ストレスケアセンター長 吉本静志

平成4年4月1日に入社して当時の西5病棟 社会復帰病棟を受け持たせてもらってから早24年になろうとしています。平成7年4月1日より、副院長を拝命して今日まで何とか頑張ってきました。自分自身色々ありましたが医師として、副院長として職務を全うできたのも先生方はもちろん、看護師はじめメディカルの方々の支えがあったればこそと感謝しております。今回精神科では富松先生が副院長となられますが、今度は私が微力ながら支えるように頑張りたいと思います。これまでの皆様の御支持に改めて感謝申し上げ、副院長を辞することといたしますが今後も継続してストレスケアセンター長として勤務いたしますので宜しくお願いいたします。



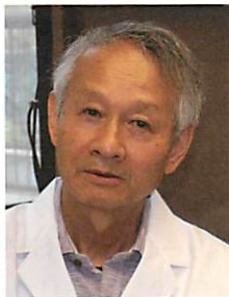
新Dr.の紹介

とみた しんいち 内科医 富田伸一

生まれは唐津。佐世保で育ち長崎で学生時代を過ごし、院生時代に動脈硬化の病理を学ぶ。嬉野医療センターで師と仰ぐ先生に出会った。

義兄と共に開放型の精神科植苗病院を設立するため苦小牧に移住。

昭和61年2月に開設し30年間勤務。望郷の念が高まり精神科の内科勤務を継続するために就職しました。とみ先生と呼んで頂くと嬉しいです！



とだ たかよし 内科医 戸田隆義

今年の3月21日から嬉野温泉病院に勤務させて戴くことになりました戸田と申します。私は生まれてから大学まで長崎で過ごしましたが、長崎大学を卒業してから、秋田大学、長崎大学、アメリカのイリノイ大学、京都女子大学、琉球大学に勤務退職後、数年間、沖縄の民間病院に勤務していました。嬉野は、祖母が喘息で、温泉に入りに来たこと、高速がなかった頃、嬉野医療センターにバスで通ったことがあります。

この縁を大事にして、働きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。



友朋会理念 『患者さんのために』

基本方針

- 1 患者さん一人ひとりの立場になって、提供すべき医療を考え、実践する
- 2 在宅での生活を目指した医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 創設時から継続されている退院支援・生活支援・就労支援の更なる充実のために地域包括ケアシステム・地域医療構想の視点を加える
- 4 芸術療法的な治療空間・アメニティーを重視し、芸術療法を治療技法として高める
- 5 医療安全対策・感染予防対策・精神科医療事故防止・防災対策・防火対策など総合安全対策体制を確立する
- 6 地域医療機関との連携や役割分担による医療を実践する
- 7 地域において認知症疾患医療センターを軸にリーダーシップを発揮する
- 8 児童思春期精神医療を実践し、地域の子どもの健やかな成長に寄与する
- 9 安全で質の高いチーム医療を実践し、地域の医療・福祉の向上に貢献する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さんの自己決定権を尊重する
- 2 患者さんが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さんがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さんに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さんに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さんに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さんの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さんの尊厳を保つ
- 9 患者さんの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さんの個人情報を守る

診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

* 診療時間

- ◎月曜～金曜
- ◎午前の部 / 8:30～12:30
(第1土曜 8:30～12:30)
- ◎午後の部 / 13:30～17:00
- ※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

* 休診日

- ◎第2・3・4・5土曜、日曜、祭日
- 年末2日、年始3日間

* 予約診療

- ◎待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。

* 眼科の診療時間

- ◎月曜日 午後のみ13:00～17:00
- ◎水・金曜日 午前10:00～12:30
午後13:30～17:00

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-----|---------------------|----------------------|----------------|----------------------|------------------------|---------------|
| 精神科 | 新患 | 精神科一般 | 前田直子 | 吉本静志 中山 享 | | 奥 栄作 前田直子 (第2・4) | 奥 栄作 富松真之 |
| | | もの忘れ | 吉本静志 中山 享 | 松尾勝久 渡邊 至 | 田中邦宏 渡邊 至 光吉幸次 | 田中邦宏 松尾勝久 | 松尾勝久 |
| | 再 来 | 富松真之 松尾勝久 | 奥 栄作 田中邦宏 前田直子 | 吉本静志 中山 享 | 中山 享 | 三根禎行 菅高一博 渡邊 至 | 第一土曜 予約者のみ |
| | 思春期 | 富松真之 三根禎行 菅高一博 前田直子 | | | | | |
| 内科 | | 口石櫻子 | 竹下吉明 | 岡本純明 | 林原歳久(午前) 口石櫻子(午後) | 榎真佐史 | 第一土曜 非常勤医師 |
| 泌尿器科 | 午前 | 倉富一成 | 江原 孝 | 倉富一成 | 江原 孝 | 倉富一成 | 第一土曜 予約者のみ |
| | 午後 | 事前連絡 | 事前連絡 | 事前連絡 | 事前連絡 | 事前連絡 | |
| 眼科 | | 崎戸晶子 (13時～) | | 崎戸晶子 (10時～) | | 崎戸晶子 (10時～) | |



医療法人財団 友朋会

〒843-0301
 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919
 電話:0954-43-0157
 FAX:0954-43-3440
 E-mail:info@yuhokai.com
 URL:http://www.yuhokai.com/



- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症疾患医療センター 0954-43-0003
- リカバリーセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
- ゆうほう会 通所リハビリ 0954-43-0233
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわずれメンタルクリニック 092-534-5151

〒815-0082 福岡市南区大楠2-19-20ピュアドームエレガント平尾3・4F